いざというときに慌てない！

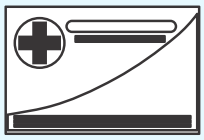
# 入院セット

病気やケガによる急な入院の場合、ご本人は病院から動けないことがほとんどです。
その場合、連絡を受けたご家族が入院生活に必要なモノを準備する必要があります。
特に一人暮らしですと、誰かにお願いするしかありません。
ボストンバックなどに入院に必要なモノをひとまとめにして、いつでも持ち出せるようにしておくと、いざというとき慌てず安心です。

※手荷物をできるだけコンパクトにするため、売店やコンビニで手軽に入手できるモノは省き、最低限のモノにとどめています。

バッグに名札をつけておくと便利！

## ✔ 入院手続きに必要なモノ

☐ 

健康保険証、高額療養費限度額認定証などの証明証、診察券

保険証や各種証明証は、保険診察や高額療養費制度の利用に必要です。

☐

現金

入院に際して入院保証金が必要な場合があります。概ね5万円～10万円ほどです。
保証人（世帯が異なる人）を立てれば、入院保証金を不要としている病院もあります。

☐


印鑑

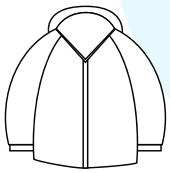
印鑑（朱肉を使うタイプ）は、入院同意書などの書類に署名捺印するために必要です。

## ✔ 当面の入院生活に必要なモノ

☐

パジャマ（2セット）

入院中はパジャマ姿で過ごすことが多くなります。最近は、レンタルサービスが普及していますが、着慣れたものが良いです。前開きやワンタッチタイプが便利です。



カーディガンなどの羽織るモノ

病室は常時エアコンが入っていて肌寒いことがあるので、季節を問わず羽織る上着が必要です。

着替えの下着・靴下

下着類は2〜3日分を用意し、必要に応じて洗濯します。

タオル

フェイスタオル・バスタオルが2〜3本あると便利です。レンタルサービスが普及していて、パジャマとセットになっていることが多いようです。

履物

入院中は、手術後のリハビリなどで、かなり歩きます。かかとが固定されないスリッパやサンダルは歩きにくく転倒によるケガのおそれがあるので避けましょう。スニーカーなどのすべりにくく歩きやすいものを選びます。

現在服用している薬・おくすり手帳

入院中は現在服用している薬を病院側で預かり、院内で処方する薬といっしょに管理されることがあります。入院時に、薬の実物と「おくすり手帳」を持っていきましょう。常用しているサプリメントがある場合は、それも確認してもらいます。

いつも使っているモノ（メガネ・入れ歯など）

他に
ラク呑み、歯磨きセット、プラスチックコップ…

（ご自分で必要と思うモノがあれば、追加してください）